

一般勘定

●概要

2019年度の予算時に比べ被保険者数が増加して収入増となった反面、支出はほぼ予算通りとなったため、収支は6億1,400万円の黒字となりました。なお、決算残金は全額別途積立金口座に繰り入れました。

●収入について

収入の大部分を占める「保険料収入」は、事業所編入により被保険者が増加し、予算額より約2億6,600万円（予算比110.3%）増の26億1,700万円となりました。前年度決算に比べ、1人当たりの標準報酬はやや減少しましたが、賞与は増加しています。

●支出について

被保険者増により、対予算で保険給付費（みなさまが病気やけがをしたときの医療費等）として支出が3,100万円増加したものの、納付金が4,100万円、保健事業費が110万円減少したことにより、全体では予算より700万円の支出減となりました。保険給付費では出産育児一時金や家族にかかる医療費の伸びが目立ちました。

納付金については、前期高齢者納付金が前年度に比べ大幅に減少しましたが、これは前々年度との精算額の影響による一時的なものであり、前期高齢者医療における財政状態が好転したわけではありません。後期高齢者支援金においては前年度比102.2%とやや増加し、重い負担であることに変わりありません。前期高齢者納付金の減少に伴い、全体では6億5,100万円（前年度比48.2%）となりました。

*健康保険組合では、65～74歳の医療費として前期高齢者納付金、75歳以上の医療費として後期高齢者支援金等を拠出しています。

保健事業費については、ほぼ前年度並みの2億7,800万円支出しました。みなさまの健康づくりのための費用として、健診費用補助、健診後のサポート（遠隔面談等による特定保健指導や要治療の方向けのサポートプラン）、インフルエンザ予防接種費用補助、各種健康相談事業、カフェテリアプランサービス等に支出しました。2019年度に実施した主な保健事業については4～5ページに掲載しています。

収入合計 26億9,391万円

支出合計 20億7,975万円

収入支出差引額 6億1,400万円

2019年度 決算のお知らせ

アボット健康保険組合の2019年度決算が、2020年8月4日に開催された第22回組合会において、可決、承認されましたのでご報告いたします。

介護 勘 定

2019年度から介護保険料率を9%から13%に改定しました。

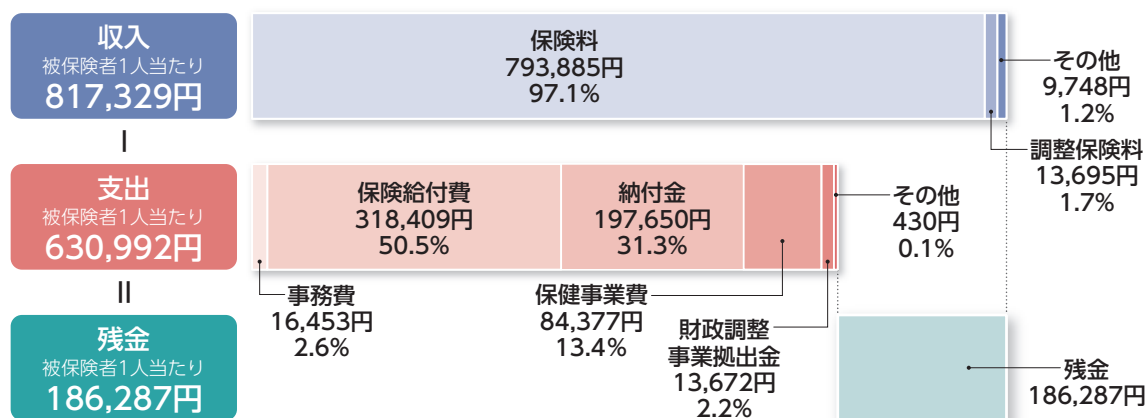
2020年度からは17%へ改定しています。

健康保険組合では、40歳以上の方の介護保険料の徴収を代行し、介護納付金として納めています。2019年度は保険料率を13%に引き上げたことと、被保険者増の影響もあり、保険料収入は予算比109.4%（2,700万円の増）となりました。介護保険の全面総報酬割の導入によりアボット健保が納める介護納付金も増加したものの、6,100万円の黒字となりました。

介護保険の収支は3億1,100万円の収入に対し、支出は2億4,500万円となり、決算残金6,100万円は法定準備金と繰越金に充当しました。



グラフで見る収支（一般勘定）と1人当たりの金額



2019年度収入支出決算

一 般 勘 定 (健康保険分)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人当たり額 (円)
収入	保険料	2,616,646	793,885
	調整保険料	45,139	13,695
	繰入金	0	0
	その他	32,130	9,748
	合計	2,693,915	817,329
支出	事務費	54,228	16,453
	保険給付費	1,049,476	318,409
	納付金	651,456	197,650
	保健事業費	278,107	84,377
	財政事業拠出金	45,064	13,672
	予備費	0	0
	その他	1,418	430
	合計	2,079,749	630,992
	収支差引額	614,166	186,287

介 護 勘 定 (介護保険分)

	科目	決算額 (千円)	被保険者1人当たり額 (円)
収入	介護保険料	310,851	148,875
	繰入金	0	0
	その他	1	0
	合計	310,852	148,875
支出	介護納付金	249,855	119,662
	還付金	7	3
	予備費	0	0
	合計	249,862	119,666
	収支差引額	60,990	29,210



2019年度に実施した 主な保健事業



健康診断の費用補助

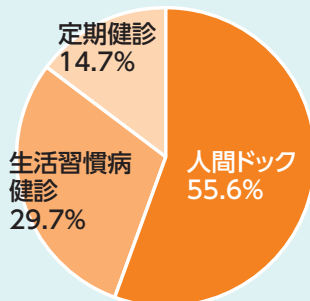
一般健診、生活習慣病健診、人間ドック、巡回レディース健診及びオプション健診等の費用補助を行いました。

基本健診

事業所編入で被保険者が増加した影響もあり、240名増加しました。2017年度から導入した巡回レディース健診を利用する方も増えています。二次健診に対しては153名に費用補助しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
人間ドック	1,541名	367名	1,908名	+149名
生活習慣病健診	844名	165名	1,020名	+54名
定期健康診断	469名	37名	506名	+37名
合計	2,865名	569名	3,434名	+240名
前年差	261名	-21名	240名	

基本健診受診者の内訳



オプション健診

オプション検査の多くは無料であり、自己負担のある検査はカフェテリアポイントを使って受診できます。事業所編入により、とくに婦人科検診を受ける方が増加しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年差
婦人科 乳がん	433名	454名	937名	+112名
健診 子宮がん	477名	427名	904名	+119名
胃部検査(X線)	36名	48名	84名	+60名
腹部超音波検査	40名	70名	471名	+22名
骨粗しょう症検査	353名	159名	512名	+61名
肝炎ウイルス検査	379名	99名	478名	+260名
前立腺がん検査	586名	4名	590名	+65名
大腸がん健診	73名	22名	95名	+57名
脳ドック	48名	8名	56名	+30名
アミノインデックス	17名	0名	17名	-3名
BNP検査	145名	20名	165名	+11名
ハート検診	76名	10名	86名	-61名
合計	3,074名	1,321名	4,395名	+689名

特定健診

法律により、40歳以上の加入者(被保険者・被扶養者)は全員、特定健診を受けることになっています(特定健診の項目は生活習慣健診、人間ドック、巡回レディース健診、定期健康診断に含まれています)。巡回レディース健診の利用者増加により、被扶養者の受診率は48.1%から54.3%に増加しました。

	被保険者	被扶養者	合計	前年比
対象者	2,313名	938名	3,251名	113.5%
受診者	1,890名	509名	2,399名	109.0%
受診率	81.7%	54.3%	73.8%	96.0%

特定保健指導

特定健診を受診した40歳以上の方で、メタボのリスクのある方に実施するものです。2019年度は162名の方がチャレンジし、105名が終了しました。前年度に比べて対象者を拡大しましたが、スマホやPCで気軽に受けられる「遠隔による特定保健指導」を導入したことにより、実施率・終了率とも増加しました。

	対象者	実施者(実施率)	終了者(終了率)
積極的支援	344名	87名(25.3%)	51名(58.6%)
動機付け支援	255名	75名(29.4%)	54名(72.0%)
合計	599名	162名(27.0%)	105名(64.8%)

重症化予防対策

血糖・血圧が基準値以上の方に対し、保健師等の専門家によるサポートプランを15名の方に実施しました。

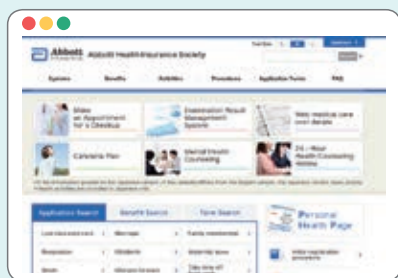
健診MYページの運営

ホームページ上で「健診MYページ」を開設し、健診結果に対するリスク度の解説、Web上でのメタボ対策支援を実施しました。

ホームページのリニューアル

ホームページでは健診やカフェテリアプランの申込、各種申請用紙のダウンロードなどができます。2019年7月からはカフェテリアプランサイトのスマホ化を行い、さらに10月からはスマホから健診予約ができるようにしました。2020年7月からは利便性を高めるため、英語版も公開しています。

英語版も
公開!



カフェテリアプランによる各種サービス

1名あたり30,000ポイントを付与しました。2019年度の利用ポイントは89,102千ポイント、ポイント利用率は56.3%でした。使用されなかった60,483千ポイントは2020年度への繰り越しとなりました。

※カフェテリアプランについては6ページに特集しています。

カフェテリアプラン 人気ランキング

※()内前年度比

1位	健康関連商品	5,188万ポイント (317.5%)
2位	健康診断	1,780万ポイント (109.1%)
3位	旅行・宿泊	746万ポイント (100.0%)
4位	健康食品・サブリ購入	451万ポイント (169.7%)
5位	レジャーチケット	350万ポイント (77.3%)

機関誌「ふぁみりんく」の発行

健保の広報誌として年に2回(5月・11月)発行し、みなさまのご自宅に送付しました。予算・決算など重要事項のほか、保健事業の利用方法の案内や、「データヘルス計画」シリーズなどを掲載しました。また、4月に被保険者全員に「アボット健保ガイド」を配布しました。



メールマガジンの発行

データヘルス計画の一環として、「ヘルスリテラシーの向上」を目的に「健康づくり応援メルマガ」を2019年度からスタートさせました。健保からのお知らせや、健康にまつわるニュースをイラスト付きで年4回発信しました。

インフルエンザ予防接種費用補助

上限3,500円として、3,717名の方に費用補助を行いました。また、三田、勝山、松戸地区の事業所にて集団接種も実施しました。

※2020年度のインフルエンザ予防接種費用補助につきましては、13ページをご覧ください。

こころの相談窓口

メンタルヘルスへの対応として電話によるこころの相談を実施しました。

電話による健康・医療相談

健康ライフのサポートと医療に対する不安や悩みの軽減を目的として「アボット健保健康相談ダイヤル24」を運営しました。

Web上での医療費通知

健康や医療費に対する認識を深めていただくため、健保のホームページ上で医療費の実績を通知しました。また、税制改正に対応し、確定申告にも使用できるようになっています。

育児誌の無料配布

子育てをする被保険者、被扶養者の支援ツールとして1年間提供いたしました(新規申込85件/年間計990冊)。